

箱入りお嬢様、衝撃のAVデビュー!

GS
glam sight

新人

19歳合法女子学生



エッチなことも
超優等生!



ガチで有名企業の社長令嬢が衝撃のAVデビュー!
中高一貫の有名私立お嬢様学校出身で、非の打ち所のない令嬢のアスナちゃん。
ただやはり実家は名家ということもあり、大学教授の母から幼い頃より厳しくしつけられたそう、その反動から日な事への興味が抑えきれなくなったとか。



本中

CONTENTS

- ①インタビューからの乳揉み&フェラ
- ②ソファでのバックSEX中出し
- ③お風呂場でバイズリ
- ④マイクロビキニで手コキ&中出しSEX
- ⑤3P+おまけ



妊娠確定の…大量中出し!!

GS
glam sight
企画制作 グラムサイト
<https://www.glamsight.jp/>
JPEG/PDF/COLOR 2400x1800px
SAO-01 105min/800YEN



●このCG集は18歳未満への販売・貸し出しを禁じます。
●このCG集の無断複製、及びネット上へのUPは禁止します。
●この作品には18歳未満の人物は出演していません。

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の購入・閲覧禁止

新人箱入りお嬢様アスナAV DEBUT

105 minutes
税込価格
¥800
SAO-01



箱入りお嬢様アスナ

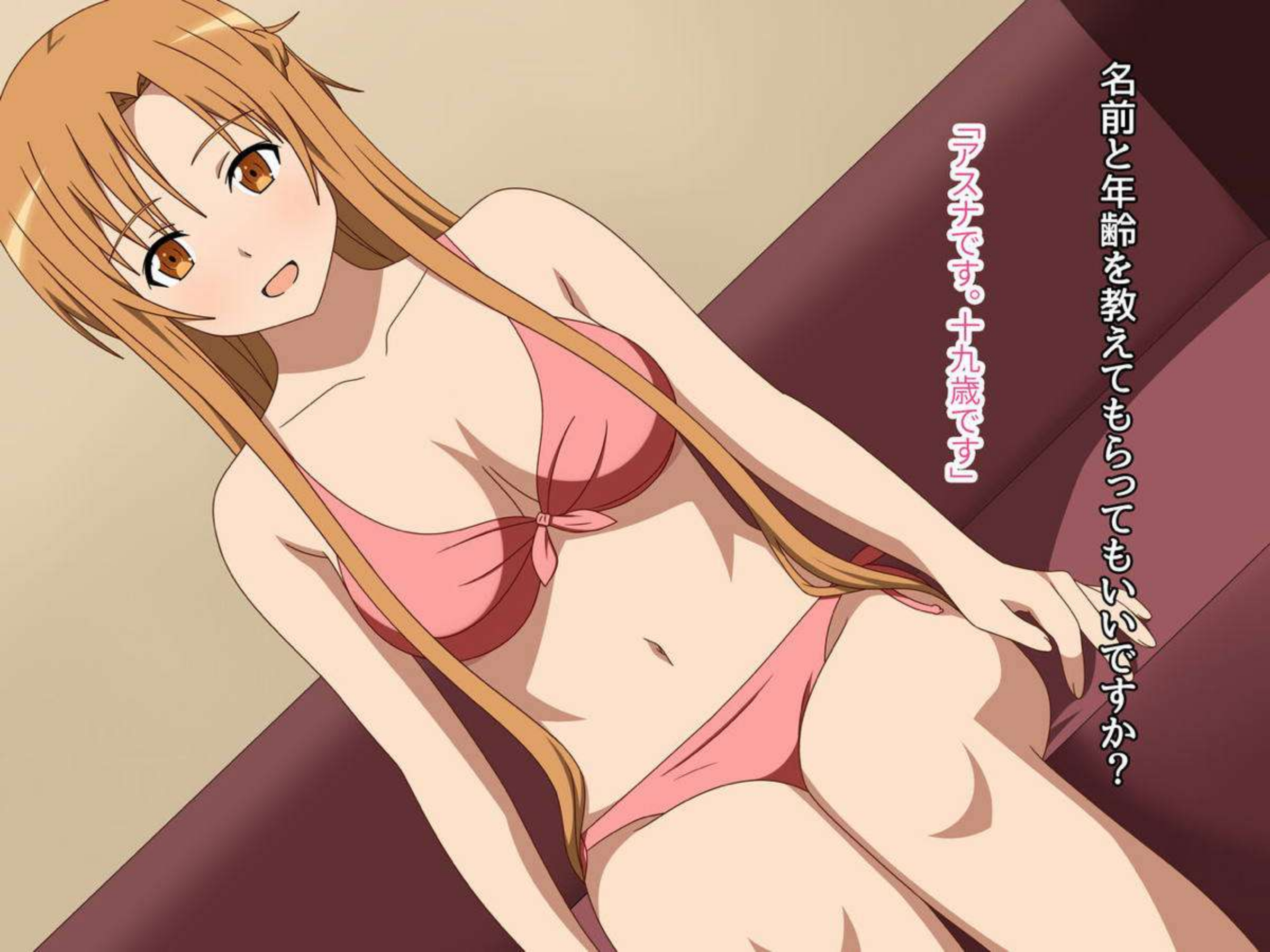
AV DEBUT



新人箱入りお嬢様アスナ
AV DEBUT

名前と年齢を教えてくださいませんか？

「アスナです。十九歳です」



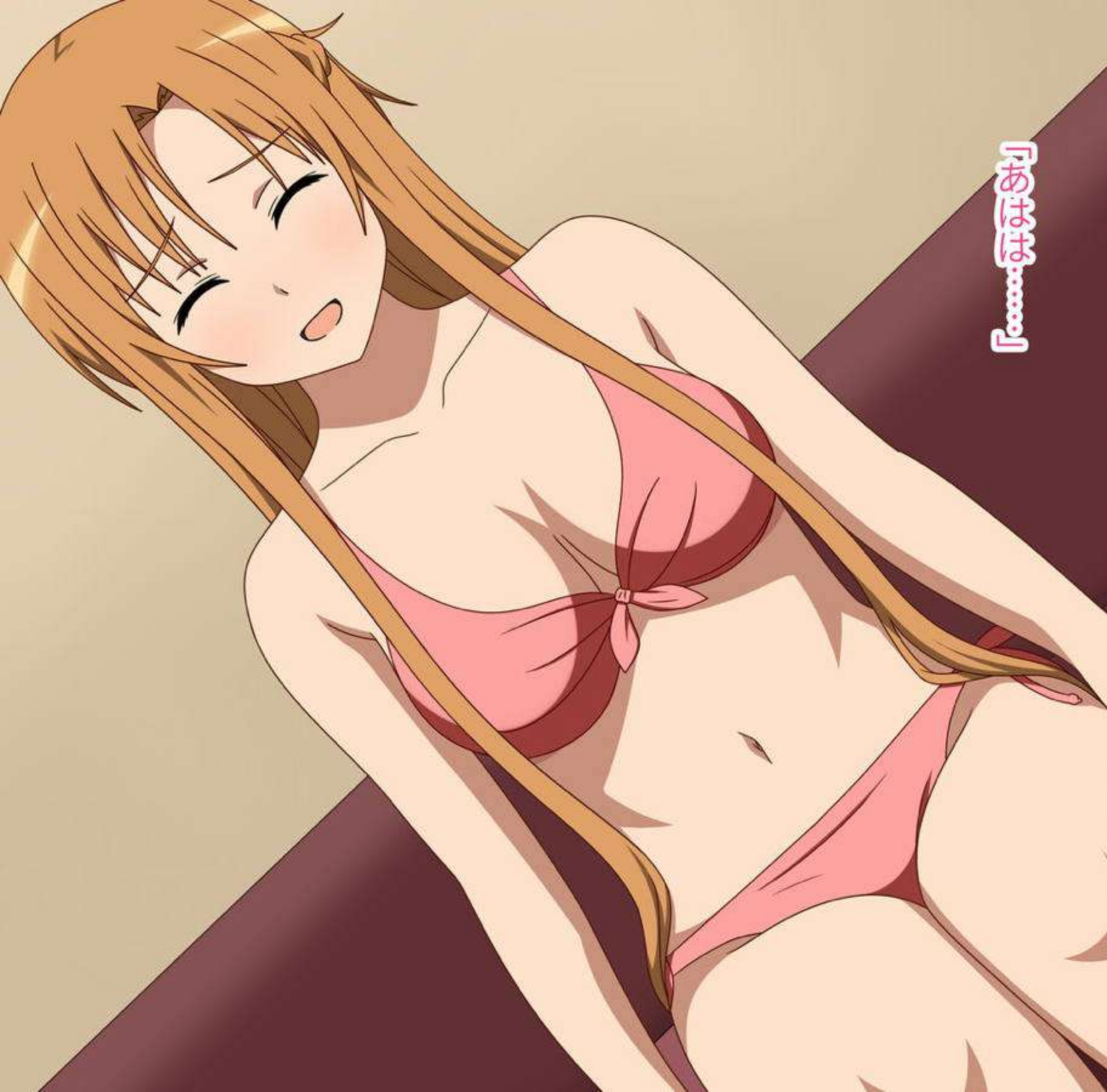
大学生？

「いえ、その……定時制、とは違うんですが、
特殊な学校に通っていて」



例のゲームの帰還者を支援するための学校ですね。
この場合ちゃんとした高校でもないし、年齢も
十九だし、合法女子学生……って考えると法の穴を
ついてる感があり興奮しちゃいますね……って失礼。

『あはは……』



さて、そんなアスナちゃんには今、
水着を着てもらっているわけですが、
さっそく上を脱いでもらいましょうか。

『あ、はい』



綺麗なおっぱいですね。ちなみに経験人数は？

「はとろです」



彼氏？ 今も付き合っているの？

「あん♡ そろそろです♡」

ハッ



彼氏がいるのに、今回撮影に応募したんですね。
エッチが好きなのかな？

「んっ……好き、かな。好きかも♡」



はむっ

「それじゃあ、とりあえずしゃぶってみようか」

「はい……♡」



「そうそう、舌を回すように舐めて……」

「んちゅ、ちゅぶぶぶ、んふう」

ちゅぶぶぶ

んちゅ



ぢゅるるっ

ん

「ぢゅるる、ぢゅぶ、ん」

「ああ……アスナちゃん、めちゃくちゃ上手だね。
彼氏のために勉強したのかな？」



ゼ
ュ
ル
ッ

「あー、ヤバい。イキそう。イクよ？
……んっ！」

「んふうー！」



「んっ、く……ゴクン」

ゴクン

「飲んでくれたんだ。やつべー、興奮して勃起が
治らないよ。このまましちゃおうか。
ほら、下も脱いでソファに手をつけて……」



「それじゃあ彼氏のじゃないチンポ、
挿入れちゃうよ?」

「はい……♡」

あ

「うお、なんだこれ。めっちゃ狭いじゃん」

「んはあ、キリトくんより大きい♡」

「やっべえ、これほとんど処女じゃね？
気持ち良すぎて腰止まんないんだけど」

パン

パン

パン

パン

「どう、アスナちゃん。
俺のチンポは気持ちいい？」

「んん、いい。オマシンの奥、今まで届いた
ことのないところまで届いてきもちいいのぉ♡」

「はー、ヤバイ。もうイッちゃいそうだよ。
このまま中に出していいっ？」

パン

パン

パン

パン

あー

「いいのお、きてえ♡」

オマンコの奥にビュッビュッしてえ♡」

「妊娠するかもしれないけど、いいんだね？」

「いいのお、妊娠してもいいから、
子宮に精子ビューってしてえ！」

「うおおおおー！」

グ
グ
グ

「はあ、はあ、はあ……」

「んっ、凄い……♡」

「お腹の奥がジワーってしてる♡」

「やっべー。マジでヒロイワこの娘」

ドクッ
ドクッ

「それじゃあアスナちゃん、
オマンコ広げてみようか」

「うう、ですか……?」



く ぽ っ

「そうそう、
そうやってお腹に力入れて」

「んん……っ」

「いいねー、エロいねー」



「そういえば、アスナちゃんって
パイパンなんだね」

「あつ、はい。」

「ギリ……彼氏がこちらがいいからって」

「献身的だねー。彼氏が羨ましいよ」

ドッ



「そんなこと……(照)」

「よし、それじゃあ休憩がてら
お風呂入ろうか」

アハ



「えい♡」

「おおぅ。」

「いやー、アスナちゃんのおっぱいって
本当最高だよね」

「そんなことないですよ。
友達とかもっと大きい娘いますし」

4ニ



「いやいや、大きければいいってもんでもないから」

「そうなんですか？」

「そうなのよ。やっぱり柔らかさとか感度とか乳首の色とか色々あるから。その点、アスナちゃん的美乳はほぼ満点といってもいい」

「あはは……」

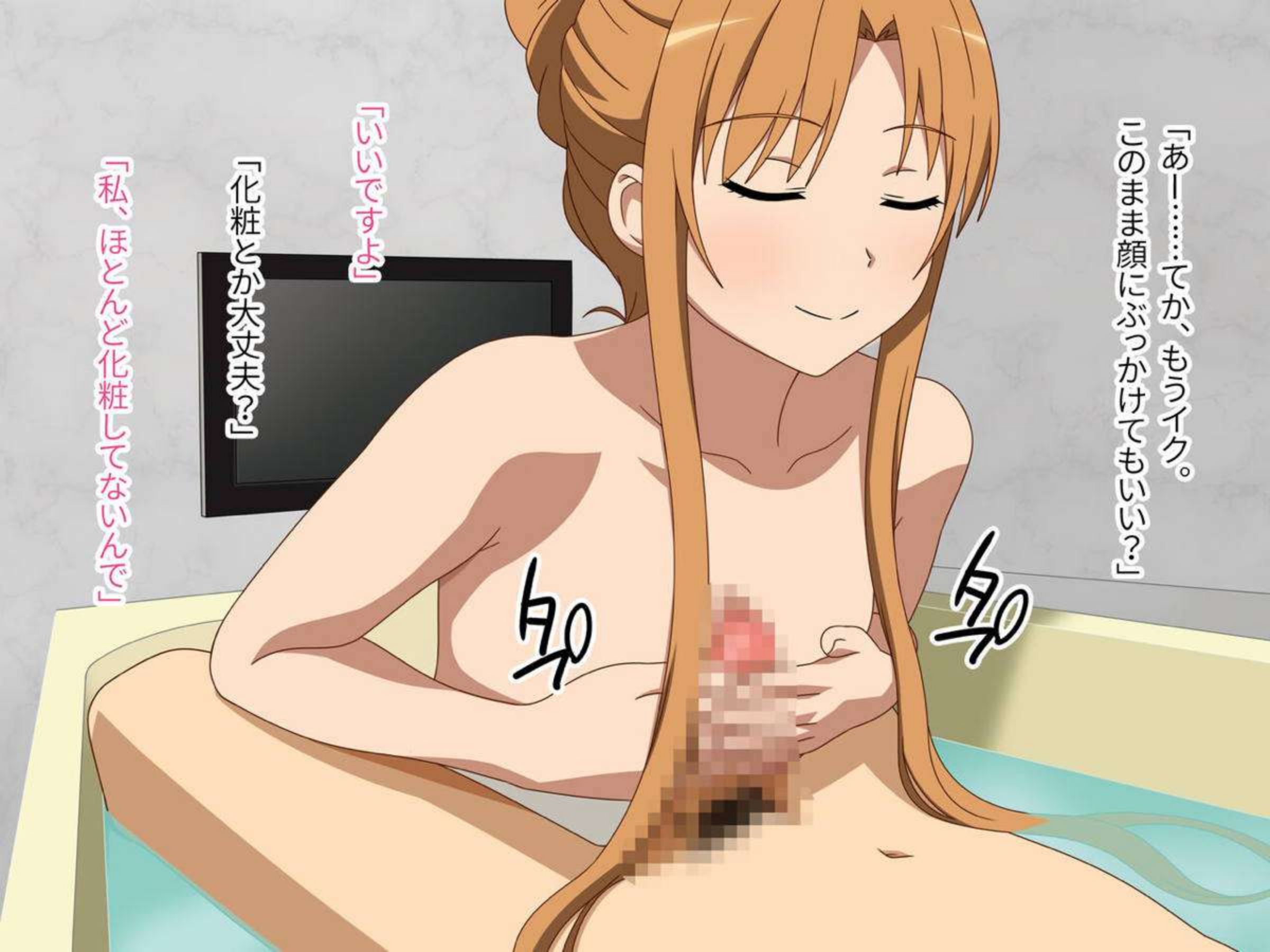


「あー……てか、もうイク。
このまま顔にぶっかけてもいい?」

「いいですよ」

「化粧とか大丈夫?」

「私、ほとんど化粧してないんで」



「マジか………うっ！」

ビュッ
ビュッ
ビュッ

「あは、オチンチンからビュッて♡」

「アスナちゃん、マジステイシア神」



『……はい、じゃあお風呂から上がって、
アスナちゃんには新しい水着を着てもらいました。
どう？』

『えっと、布の面積が減っちゃって、
ちよつと恥ずかしいですね』

んー



「普通のビキニも似合ってたけど、
マイクロビキニも超似合ってる。
彼氏はコスプレとかの趣味はないの？」

「んー、あんまりコスチュームにこだわりは。

あつ、でも脇が出てる服のときは興奮するみたいで」

「脇フェチか。

彼氏さん中々業の者だな」



「彼氏とはいつもどんなプレイしてるの？」

「えっと、そうですね。」

「手でしてあげたり……とか？」

「手コキか。」

「いいね、やってみようか」



「じゃあ、赤ちゃん言葉使います？
私、ママになりますんで」

「えっ、赤ちゃんプレイ！？
か、彼氏とはいつもしてるの？」

「はい」

「そ、そっか……。
でもそれはちよつといいかな」



「あー、でも彼氏が赤ちゃんプレイ
したがるのも少しはわかるかも。
アスナちゃんってバブみすげーわ」

「バブみ、ですか？」

ん
キ
エ



「母性を感じるってこと」

「母性ですか。
それはちよつと嬉しいかも」

ニム
ニム



「嬉しいんだ？」

「そうですね。
私、子供好きですし」

ニム
ニム



「あつ、アスナちゃんストップ。
これ以上やるとイッちゃうから。
どうせならアスナちゃんも気持ちよくなるろう」

「はーい♡」



「あはあ、大きなオチンポ、
奥まで入ってきたあ♡」

「あー、やっぱり気持ちいいわ。
アスナちゃんのオマニ「最高」

ズニッ



「チューしてえ、いっぱいチューして
気持ちよくしてえ♡」

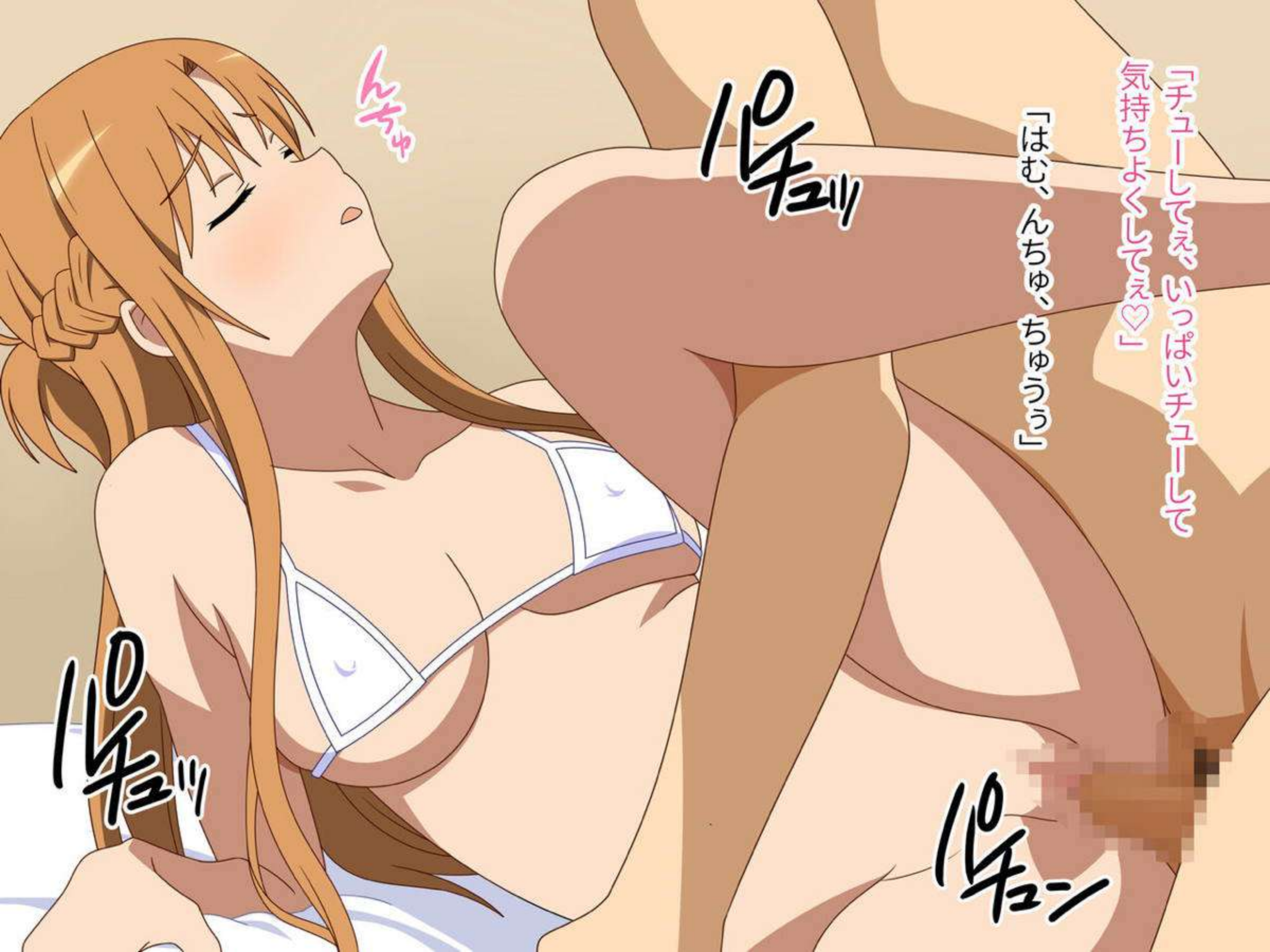
「はむ、んちゅ、ちゅっ」

10
チュッ

10
チュン

んちゅ

10
チュッ



「ふはあ、またオチンポ大きくなってる。
イクの、イッちゃうのお？」

「ああ、イキそう。
イクよ、アスナちゃん。
またオマシコに出すから。
妊娠してもいいんだろ？」

イク

イク

イク

「ぎてえ、いっぱい種付けしてえ、
赤ちゃん妊娠させてえ！」

「うーん、うーん」

ド
ン
ッ

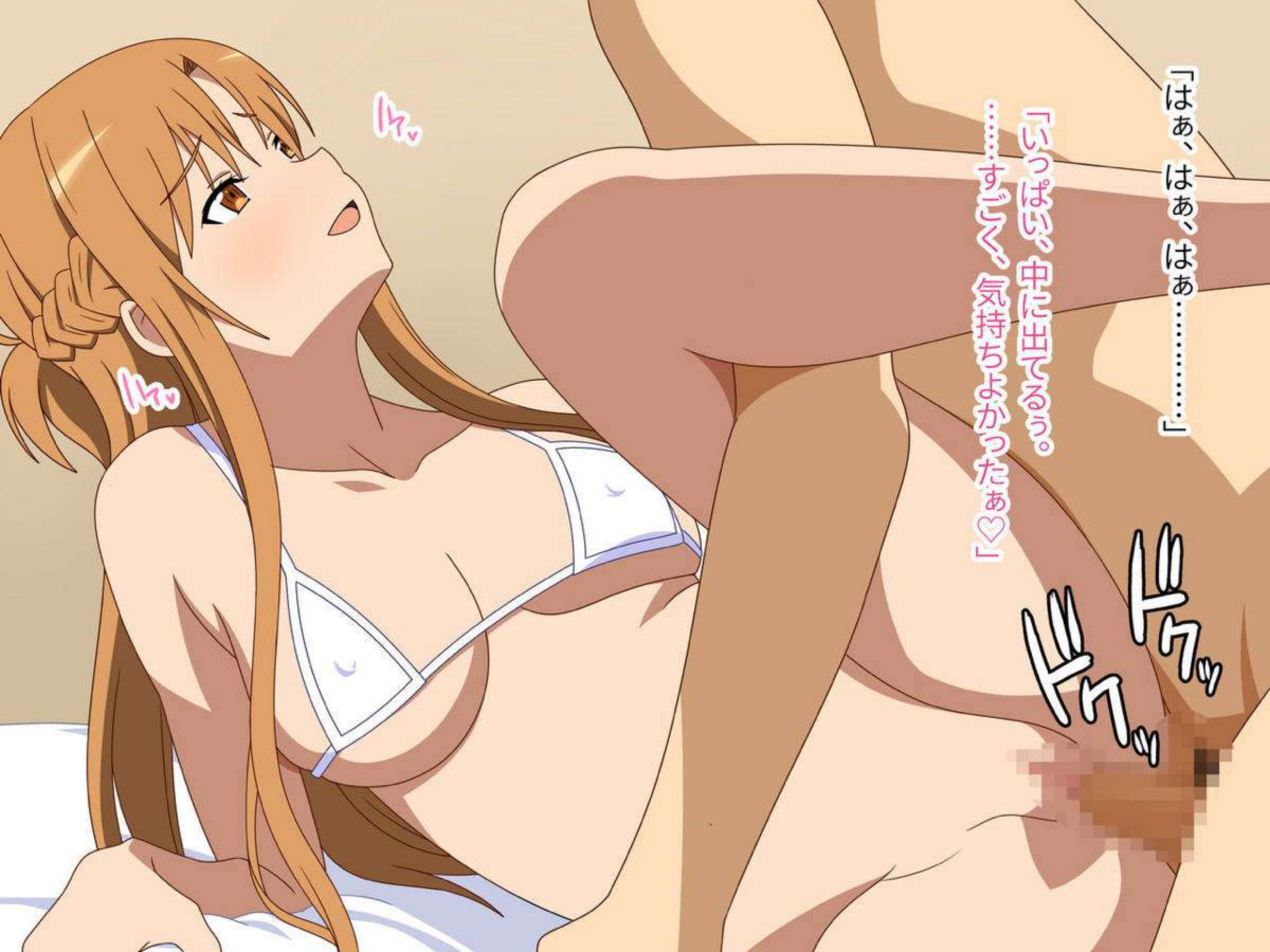


「はあ、はあ、はあ………」

「いっぱい、中に出てるう。」

「……すごく、気持ちよかったあ♡」

ドクッ
ドクッ





「あー、もう我慢できねー。」

ムネ、撮影代われ。兄貴、次は俺がやる」

「あんまり乱暴にするなよ？」

「わかってるって。よし、挿入すんぞ」

「はあん！」



ズ
ン

「どうよアスナちゃん、兄貴のと比べて」

さっきまで

「んん……大きさ、的には
さっきの方が……」

「なにい……それなら俺のとおきで
イかせてやるからな」

ズ
ン

ズ
ン



「んっ……とって、おきっ。」

「喰らえ、ピストン八連撃
《ヴォルカニック・ブレイザー》！」

「えっ、それって……」



あー

「おらおらおらおらー!」

「んはあ! あっ、ダメ、
オマンコ、奥突かれてイク、
イッてるからあ!」

「よーし、俺もイクぞ!
このまま孕め! 孕んじまえ!」

「ひぐっ、ふああああ……んっっ!」

グ
ビ
ュ
ル
ッ



「はあ、はあ、はあ………」

「ふう、キリトには悪いが
最高だったぜ、アスナちゃん。
今回のみって話だったけど、
また出演したくなるときはよろしく」

「……ふあーい♡」



『それじゃあ最後に学生証をのせてっと。
あくまで高校ではないし、年齢も十九なんです
合法ですっつと。
ほら、アスナちゃんも笑って笑って』

「あ、あはは……」



ブク
リク

『これで最後ですね』



……

削除と



動画を再生できません

この動画はアップロードしたユーザーにより削除されました

おん

「これでネット上のママの
動画はひとつ残らず削除
しました」

あはっ

「ごめんね、ユイちゃん」

「今後もネット上に流れたら自動的に
削除されるようにしましたが……そもそも！
ママは何でこんな動画に出演したんですか」

「最近キリトくんともマンネリだったし、
ちよっとした刺激が欲しくって。
あとまあ、不満も少しあって、ね」



「確かにパパの男性器は
世の平均よりもやや控えめな
短小と呼ばれる部類のもの
ですし、エッチの際に技名を
連呼するのはいかななもの
かと思いますが……」

「いや、まあ、そこは可愛らしくって
いいと思うのよ？
ただ持久力がないし、精子の量も
少なめだから中々妊娠しないところが
不満っていうか」



「こうして早くユイちゃんに
兄弟も作ってあげたかった
のよね」

「パパの子じゃなくていいんですか？」

「それを言ったらユイちゃんとも
血の繋がりは無いわけだし。
キリトくんなら受け入れてくれるって
信じてるわ」



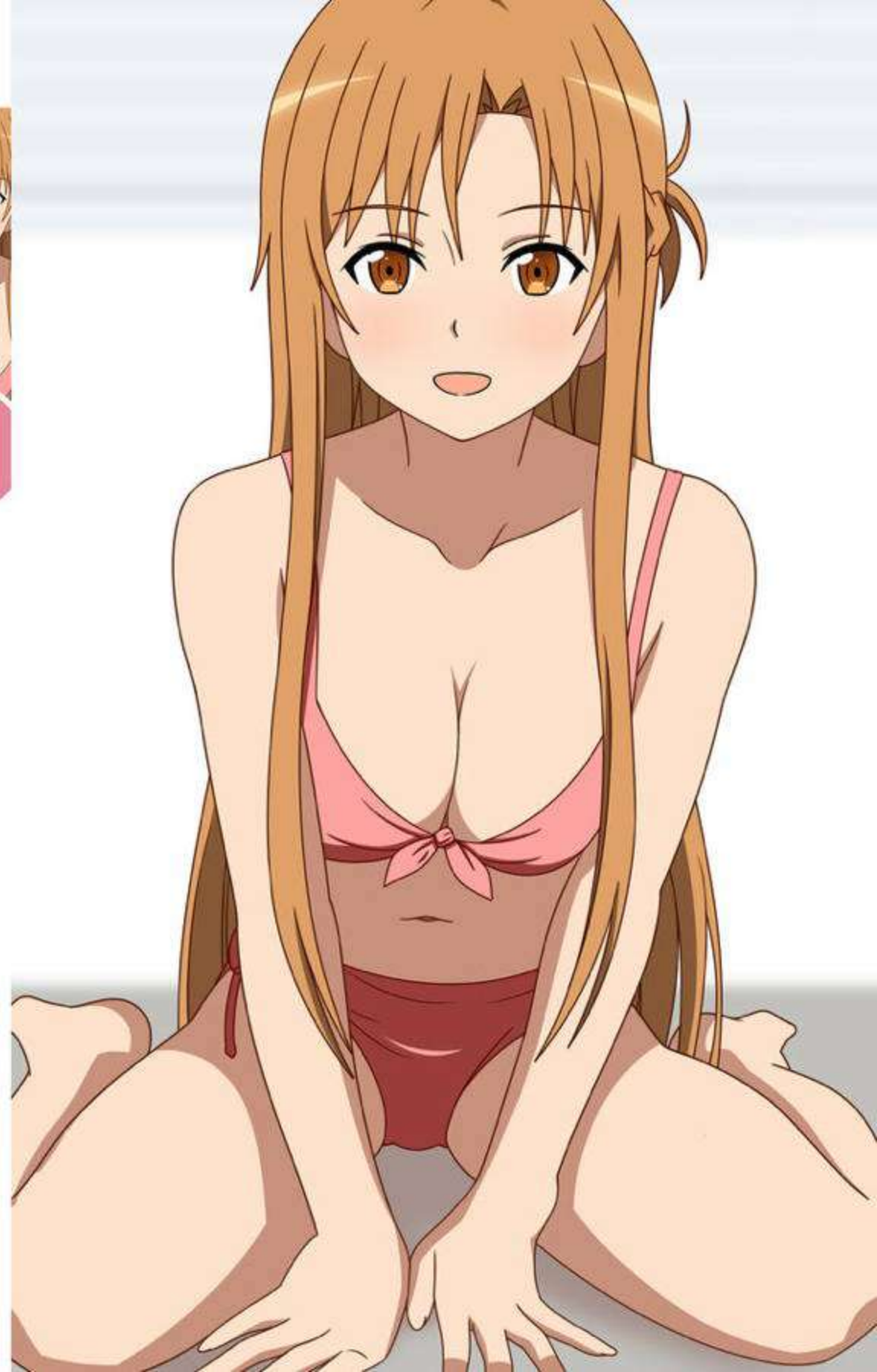
「まあ、（ヘタレな）パパなら
……。でもそれならそれで、援助
交際でもよかったのでは？」

「プロの撮った動画を残しておきたかったの。
自分専用（オナニー）にね♡」

「中々業が深いですね……」

「やだー、ユイちゃんだったらどこでそんな言葉
覚えてくるの？」

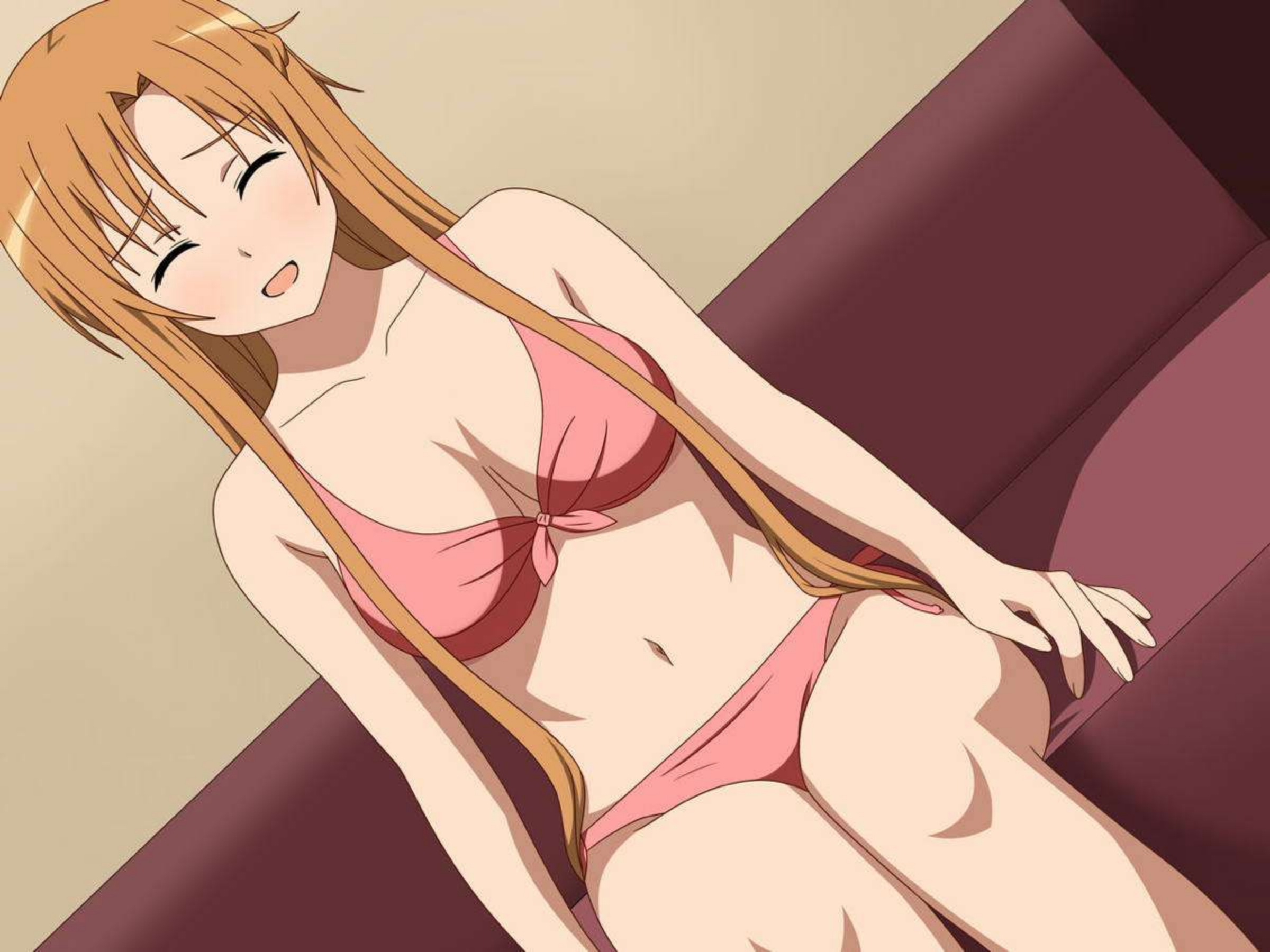


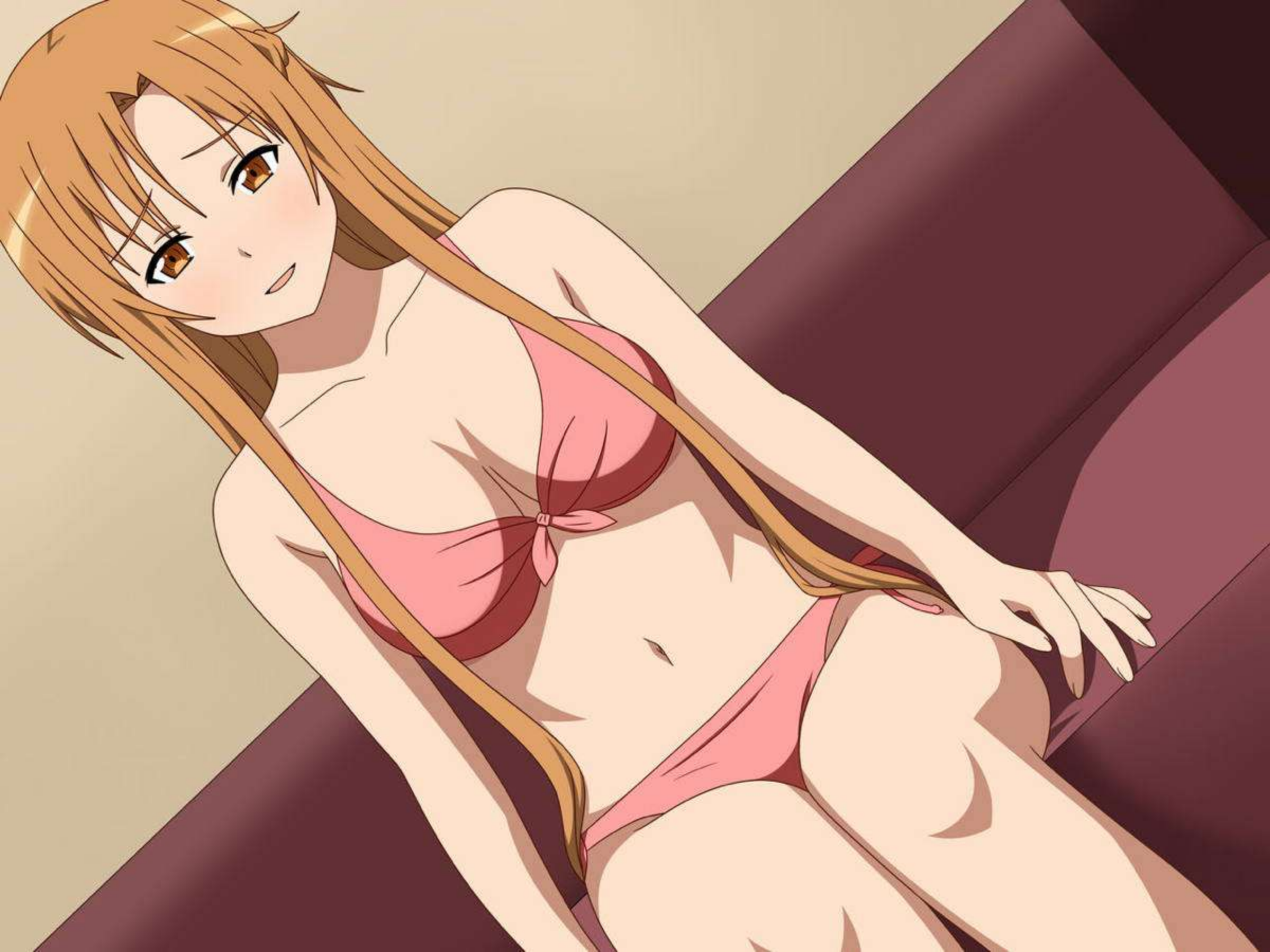






















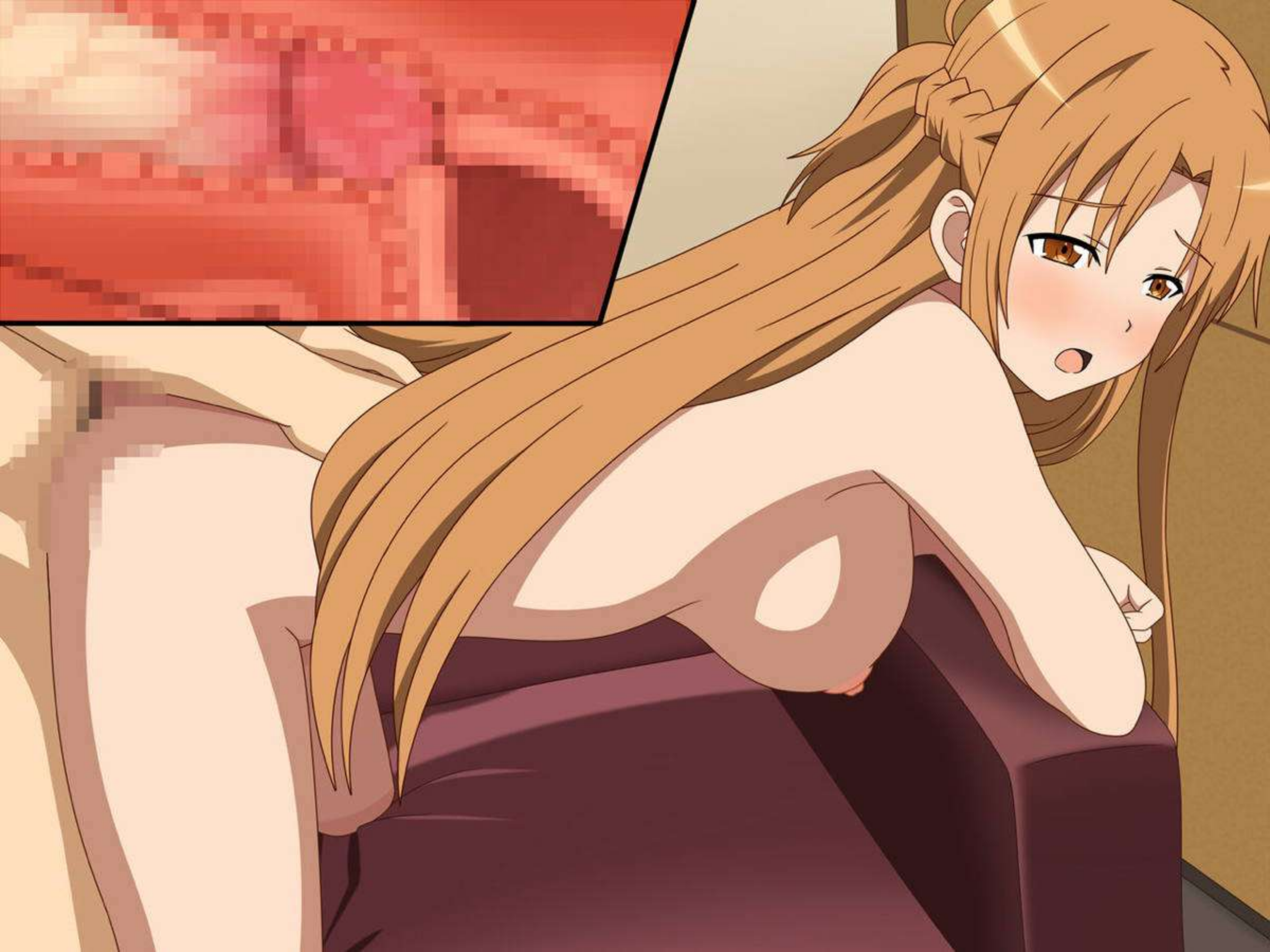


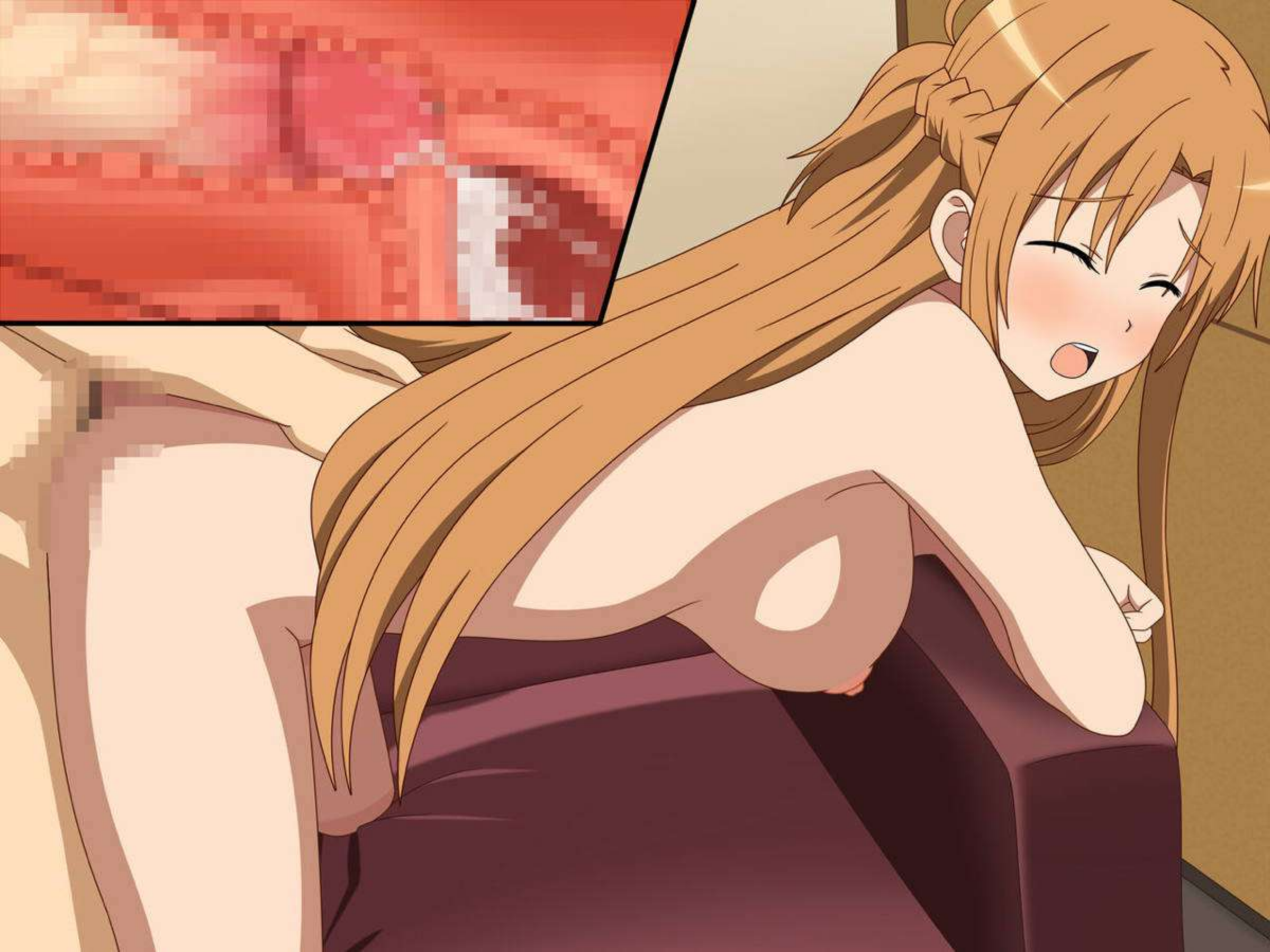
























































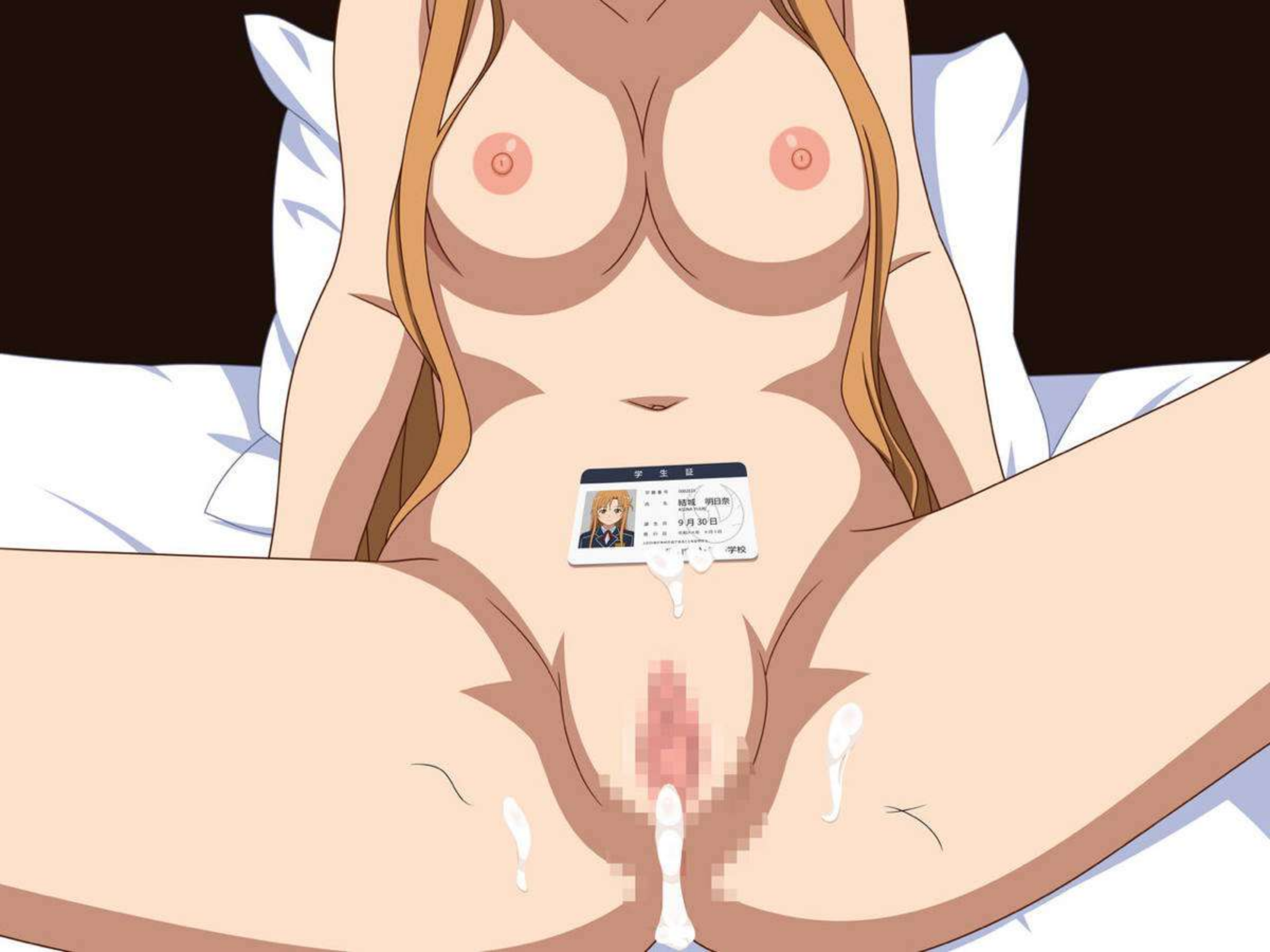
















動画を再生できません

この動画はアップロードしたユーザーにより削除されました









学 生 証



学 籍 番 号 0002833

氏 名 結城 明日奈
ASUNA YUUKI

誕 生 日 9 月 30 日

発 行 日 令和XX年 4 月 1 日

上記の者が本校生徒であることを証明する。

学校